

2019年1月15日

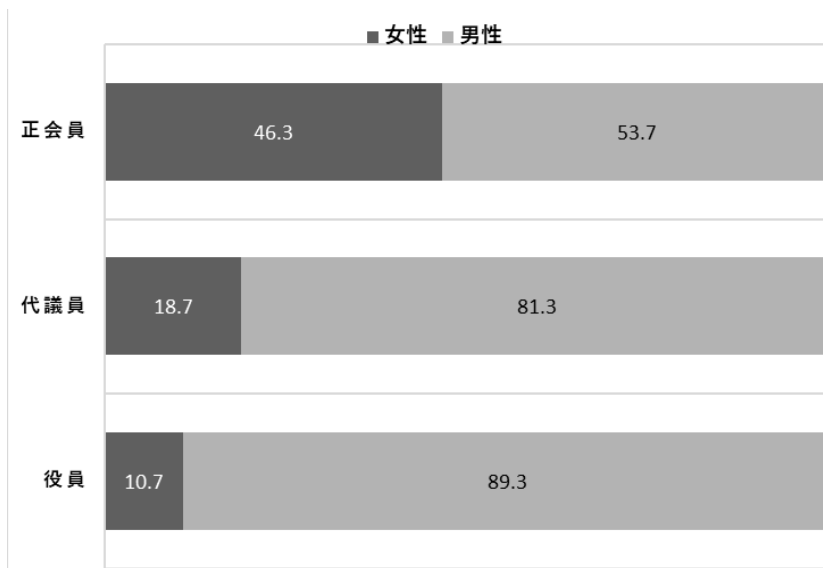
公益社団法人日本心理学会 有権者の皆様

## ジェンダー比に配慮した代議員の選出について（お願い）

男女共同参画推進委員会

202030という数字をご存じでしょうか？ これは、国が策定した第三次男女共同参画基本計画で、社会のあらゆる分野において、指導的地位に女性が占める割合を2020年までに少なくとも30%程度にしようという数字です。学問や研究の世界も例外ではありません。2017年度には、人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（ギース）が発足し、日本心理学会も加盟しました。また、学会内にも男女共同参画推進委員会を設置し、この課題に取り組もうとしています。

日本心理学会では、学会の運営や方針決定にかかわる代議員、役員（理事・監事）のジェンダー比は、下図のように、まだまだバランスがとれていないといえませんが、代議員の中から役員が選ばれるため、この代議員選挙はきわめて重要なものとなります。そこで、これから行われる代議員等の選挙においては、ジェンダー比に配慮し積極的に投票行動を行っていただきますようお願いいたします。



日本心理学会 会員・代議員・役員ジェンダー比 (%)  
(2018年7月31日現在)

ジェンダー平等をめざしましょう！

それは、学会の活性化・透明化、学問の発展につながります。